

計量の歴史と 京都の神家



三島市郷土資料館所蔵



『人倫訓蒙図彙』より

主催 NPO 法人 京都観光文化を考える会・都草

共催 京都府立京都学・歴彩館

日時 2022年12月18日(日曜日)
(午後1時15分開場予定)

場所 午後2時～午後4時
京都府立京都学・歴彩館 大ホール
(京都市左京区下鴨半木町1-29)

資料代：500円(当日支払い) / 事前申し込み制
座席自由(先着240名)

タイムスケジュール

【第一部】講演 午後2時～3時15分

「はかる歴史 はかりの神家と枡の福井家」

江戸時代の京都には、はかりの神家と枡の福井家という二つの家がありました。従来は江戸幕府の計量統制を支えた「お役所」と理解されてきたのですが、はたしてそうなのか。遺された文書等をもとに考えます。



三島市郷土資料館所蔵

【第二部】午後3時25分～4時

「ひとりでできる古文書撮影 わたしの場合」

古文書を読んでみようと思ったとき困るのが写真の撮影です。現物はいつもいつも出してくるわけにはいかない。ひとりで・安あがりになれる例を紹介します。



<講師プロフィール> 伊東 宗裕氏

1951年 福岡県生まれ 立命館大学大学院修了

長年、京都市歴史資料館に勤務

主な著書に『京の石碑ものがたり』『京都石碑探偵』『京都古地図めぐり』『内裏図集成』など、京都に関する調査研究多数

* 申し込み方法 *

募集期間：10月5日(水)～12月16日(金)
募集人員：先着240名様

1. 都草ホームページ下段「都草講演会申込」よりフォームにご記入

<https://www.miyakogusa.com>

2. E-mailの場合 info@miyakogusa.com

3. Faxの場合 075-451-8146

注：「E-mail または FAX でお申し込みの場合」

- ・「件名」に「都草講演会申し込み」と明記
- ・参加者氏名（ふりがな）と住所、連絡先電話番号
- ・複数申し込みは可能ですが、参加者全員の氏名と住所、連絡先電話番号をご記ください。



- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため募集人員が変更されることがあります、予め、ご了承ください。マスクの着用及び体温測定のご協力をお願いします。当日会場にてお名前を承ります。録画・録音・写真撮影は固くお断りします。

* 場所 京都府立京都学・歴史館 *



【電車でお越しの方】

- 京都市営地下鉄（烏丸線）北山駅 [K03]
一番出口から南へ徒歩約4分
*車椅子の方は、北山駅3番出口のエレベーター

【バスでお越しの方】

- 北山駅前
(京都市バス 4・北8系統)
南へ徒歩約4分
- 府立大学前
(京都市バス 1・204・205・206・北8系統)
(京都バス 32・34・35・45・46系統)
北へ徒歩約6分



* NPO法人 京都観光文化を考える会・都草 *

ともに京都を学び・語り・遊ぶ

「都草」は平成16年に始まった京都・観光文化検定試験（京都商工会議所主催）で「京都通」と認定された人々をはじめ、京都の歴史・観光・文化を学ぼうとする人々の集まりです。京都の観光・文化の振興と啓蒙に関する事業を行い、京都の活性化と豊かな地域社会の実現に寄与することを目的としています。

〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入ル京都府庁旧本館2階・旧書記官室

Tel/Fax：075-451-8146 <https://www.miyakogusa.com/>